

企業等による地方創生 SDGs 調査・研究会(第 3 回)の開催結果について (概要)

○日時:令和 7 年 8 月 25 日 10:00-12:00

○場所:ハイブリッド(内閣府・オンライン)

○出席委員:竹ヶ原座長、大塩委員、小林委員、関委員、菌田委員、月田委員、
長谷川委員、平松委員、堀田委員、宮垣委員、横山委員

○議事総括:

① 企業等による地方創生 SDGs 取組事例ヒアリング

- ・ 各団体より、取組事例についての説明があった
- ・ 委員からの質問や意見は次のとおり

地元農産物のブランド化と人材育成の事例(宮崎県新富町)

- 地方創生 DAO を開設した理由は何か。なぜ DAO(Decentralized Autonomous Organization; 自律分散型組織)のような先端的な仕組みを採用しようとお考えになったのか。
- 得られた収益は具体的にどのような取組に投資を行っておられるのか。投資判断やリターンの基準があればご教示いただきたい。
- 地域に新たな事業を作ることや、I ターン・U ターンに貢献しているという点では非常に意義のある取組であると考えているが、観光協会をこゆ財団のようなアクティブな組織に発展的に改組できたポイントは何か。

対馬マリリンリビングラボの事例(長崎県対馬市)

- 自治体と連携し、J ブルークレジットを発行のご検討状況はいかがか。
- 対馬市の関わり方や地域住民の皆様の反応はどのようなものであったか。
- 地域住民の皆様が海洋ごみの問題についてより一層自分事としてとらえていただくためには何が必要か
- 対馬市がブルーオーシャンイニシアチブのような取組との関係性を構築できたように、他の自治体においても中間的な支援組織と同様の関係性を構築するためにはどのような取組が必要とお考えか。

シビックプライドの醸成の事例(埼玉県秩父市)

- Z 世代との対話について工夫された点があればお聞かせいただきたい。
- 地域資源を再発掘する過程において、少子高齢化や産業の衰退等、貴市の事例は多くの自

治体に当てはまると考えるが、工夫された点はあるか

- 他の地域に貴市の取組を横展開することを予定されているか、また、本事業のような取組を横展開する上での課題はあるか

鹿島モデルの事例(佐賀県鹿島市)

- 鹿島モデルは、当初貴市主導で多くのステークホルダーとの関係性の構築に成功された優れた事例と考えるが、貴市として最も有益・効果的だったと考える事業は何か。また、鹿島モデルの一層の発展に向けての今後の課題は何か
- 当初実績が少ない中で地域金融機関や大手企業と連携することができた要因・工夫は何か
- 鹿島モデルは 1 事業に対し、貴市からどの程度の予算を付けていて、どのようなサポートをされているか

以上